

TOMIYA & UNESCO NEWS LETTER

令和6年度 第4号 ユネスコ企画部発行 2025年3月



本校はユネスコスクールとして、地域社会と連携しながら、世界へと視野を広げる学びを大切にしています。生徒一人ひとりが未来を切り拓く力を育むため、様々な活動に挑戦しています。

「届けよう、服のチカラプロジェクト」

本校はユニクロ主催の「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加しました。これは、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）と連携し、着なくなった子供服を難民の子どもたちに届ける取り組みです。8月の樹咲祭では多くの寄付が集まり、ミヤギテレビ『Oh!バンドス』での告知も功を奏しました。また、成田東小学校の協力もあり、多くの服を届けることができました。

また、この活動に対し、主催者から感謝状が贈られました。地域の皆さまと世界がつながる貴重な経験となり、ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



富谷市の未来を考える市民ワークショップ

12月21日、1月11日、2月9日の3日間、富谷市で開催された「富谷市の未来を考える市民ワークショップ」に、本校1・2年生8名が参加しました。10代から80代までの市民が、富谷市の良い点や課題について話し合い、「公共交通の整備」「交流施設の充実」などの意見が出されました。本校生徒も市長や市職員の前で堂々と意見を発表し、地域の未来について考える機会となりました。



留学生ウィリアム君の修了式

9月から本校で学んでいたアメリカの留学生、ウィリアム・ウキラ君の修了式が1月31日に行われました。ウィリアム君は日本語の学習だけでなく、学校行事や修学旅行にも積極的に参加し、2年生との交流を深めました。異文化理解の大切さを実感する機会となり、彼の今後の活躍を願っています。



とみやわくわくミーティング

1月28日、本校で「とみやわくわくミーティング」が開催され、「若者の選挙への関心を高めるには」をテーマに、市長や大学教授を交えた議論が行われました。本校2年生16名が参加し、「候補者情報をSNSで発信」「学校で演説会を開催」などのアイデアが出されました。選挙への関心を高めるには、情報を受け取るだけでなく、自ら学ぶ姿勢も重要であることが改めて認識されました。



マイプロジェクトアワード 宮城県 Summit

2月1日、東北大学で開催された「マイプロジェクトアワード宮城県 Summit」に、本校の生徒8名（2グループ）が参加しました。「フラワーパークを通じた地域活性化」と「子どもが意見を言いやすい環境づくり」の2つのテーマで発表し、他校のユニークな研究にも刺激を受けました。地域課題の解決に向けた挑戦を、今後も続けていきます。



令和7年度 3学年課題研究収穫祭

2学年で実施してきた、SDGs 課題研究「持続可能な地域とまちづくり」における校内での最終的な発表の場として収穫祭という行事を開催しています。2学年課題研究は富谷市役所協力の元、市役所各部と連携して課題研究に取り組んできました。3月21日(金)にその予選として、各部での発表会を行います。1年生は審査員として、また、来年度の課題研究に向けて、2年生の発表としっかりと聞き取ります。その結果、4月19日に行われる収穫祭本選では9班が、宮城大学・宮城教育大学・富谷市役所等からお呼びした審査員・保護者の前で課題研究の集大成を披露します。

「フラワーパークをつくり地域を盛り上げる！」

「富谷市を資源循環型社会にするためには」

「奇跡のお茶が繋ぐ未来」

「捨てないで！！YOUR OPINION」

「楽しい学校生活の実現！！！！」

「震災時でも安心できるまちづくり」

「救急医療改善ミッション！！」

「幅広い世代に利用される公園づくり」

「リユースの力で目指せ4R実現！！」